

7月16日臨時議会を開催

2つの工事請負契約を可決

7月16日に臨時市議会が招集され、林道曲田線開設工事及び市立二井田公民館新築工事についての2議案を提出しました。

これは、この工事の実施にあたり、施行者との間で請負契約を締結するものですが、当該請負金額が3,000万円を超えることから、議会の議決が必要であり今回提案し可決されたものです。以下、この2つの工事についてお知らせします。

〈林道曲田線開設工事〉

市では、林業の生産性の向上を図るため、その生産基盤の整備として、林道の新設や改良などをすすめておりますが、今年度は、曲田線と倉の沢線の2つの林道開設を予定しております。

林道曲田線の開設工事の請負契約は、今臨時市議会の議決を得て、太田建設株式会社（代表取締役・沢口 亨）との間で結ばれ、先月17日から工事が始まっております。

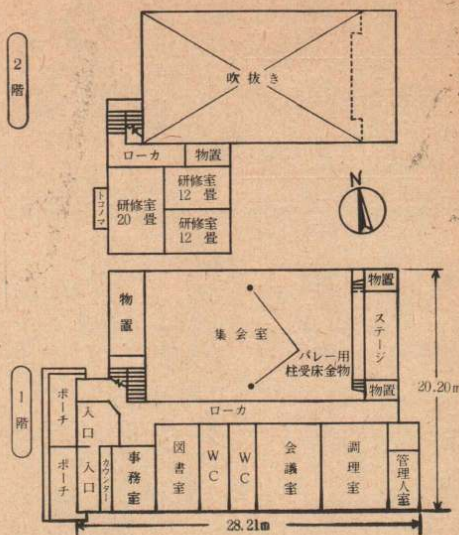
総工費は、4,860万円（うち国、県の補助70%）で、曲田地内の米代川北線を起点に鞍掛山麓へ延長1,660メートル、幅員4メートルの林道が、今年12月に完成する予定となっております。

〈二井田公民館新築工事〉

社会教育の重要性が叫ばれている昨今、その学習内容も多様化されてきており、現在の公民館では十分な機能を発揮できないことから、この度旧二井田小学校跡地に新築することになったもので、今年12月完成の予定で協和建設株式会社（代表取締役・奈良一雄）との間で工事請負契約を結びました。

工事費は3,921万円（電気、給排水設備を除く）で、木造2階建一部鉄骨造り、総面積621・07平方メートル

となっております。1階には、事務室、図書室、会議室、調理室それに集会室、2階は、研修室（20畳数1室、12畳数2室）となっており、集会室はステージ付で、天井は2階まで吹抜けとし、バレーボールも行うことが出来るなど、地区民の学習要求に十分にに応じられる機能を持った公民館となります。



〈新築される二井田公民館平面図〉

なお、電気設備工事は467万円で吉原電気工業が、また、給排水衛生消火栓設備工事は193万円で大進工機がそれぞれ担当します。

ておりますので、気軽にご利用ください。
「ブルーの窓口」

大館市教育委員会事務局内
電話 42-1212 内線214

また、市内にはつぎの方々13名の生涯教育奨励員がおり、皆さんの相談に応じております。

(敬称省略)

戸枝 正樹	(片山町)	42-2419
乳井 治道	(釈迦内)	48-5419
対馬 俊典	(大町)	42-1346
米沢 シメ	(柄沢)	42-7384
安達 与一	(下代野)	48-4367
高清水俊子	(餅田)	43-1280
藤原誠一郎	(山館) 比内5-0085	
蛇川 ツヤ	(櫃崎)	43-6364
芳賀 良一	(比内前田)	45-2384
畠山利之助	(十二所)	52-2440
佐々木悦二	(粕田)	46-4422
鎌田 達子	(花岡)	46-1244
白川 勝義	(花岡)	46-1277

生涯教育相談コーナー

ブルーの窓口を開設

今、大きな課題とされているのが、人間の発達段階に応じた生涯にわたる教育

体系です。

そこで市では、市民に教育を受ける機会を与え、生涯にわたって教養を広め、健全で、文化的なそして充実した人間生活を送ることが出来るよう「生涯教育推進本部」を設置し、その拡充と強化につとめております。さらには、7月1日から市教育委員会事務局内に「生涯教育奨励室」(愛称・ブルーの窓口)を設けて市民の皆さんの生涯教育に関する相談に応じるとともに、適切な助言を行っ



50年度 健康相談状況

相談者は成人人口の9.3%

市では、保健婦活動の一環として毎月各地区で皆さんの健康についての相談に応じておりますが、この度昭和50年度の健康相談の状況がまとまりました。それによりますと、成人の健康相談者は実数で4,483人(延べ数では8,636人)で、20歳以上の人口48,219人の9.3%となっております。これを男女別にみますと、男は5.9%、女は12.2%で男は女の半分にまで至っておりません。又、年齢別で見ますと若い人たちの相談が全く少ないこともあげられます。これは自分の身体に異常を感じないからということがその理由と思われるのですが、自分では気がつかないうちに健康がむしばまれていることがありますから定期的に健康について相談をするようにしましょう。

母子の健康相談は各地区ごとの定例相談日のほか、市役所厚生課保健指導係で妊娠届及び出生届時にも応じておりますので積極的にご利用ください。

又、大館市の年間出生数は約1,000人ですが、乳児死亡者は約20人で、その原因は生まれる以前からのいろいろな障害があることが多くみられますので妊娠中は専門医の指導を受けるようおすすめます。

国保情報 No.16

昭和50年度の国保事業の結果がまとまりましたので、その概況を2回(8・9月号)にわたってお知らせします。

1. 国保加入者は

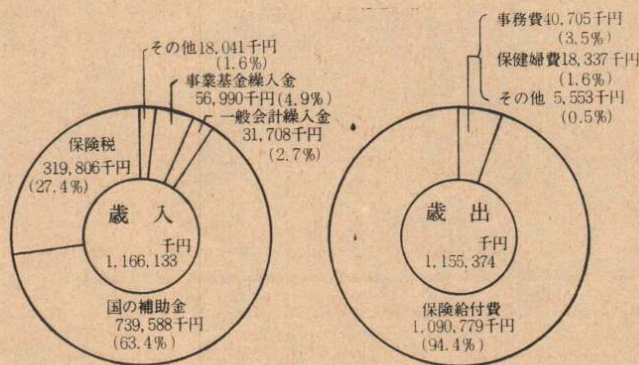
全市民の36.1%

年間平均(世帯数8,717世帯 被保険者数26,089人)

昨年10月の国勢調査における大館市の人口は71,827人で、45年と比較して1,131人減少しており、このような全体的な人口低下傾向のほかに、職場健康保険加入者の増加などで、国保の加入者も昭和49年度から257人減少し、全人口に占める国保加入率は36.1%と減少傾向が続いております。

反面、国保加入世帯数は119世帯増加しておりますが、1世帯当りの被保険者は2.99人と3人を割っており、ここにも核家族化現象が顕著にあらわれております。

昭和50年度国保事業のあらまし (その1)



2. 経理状況

昭和47年度から保険税を据置いたことから、昭和50年度では、国保事業基金の全額をつぎこんでも約5,450万円の赤字が予想されましたが、医療費改

正が年度内に行われなかったことや、一般会計からの繰入金の増額と国の補助金も増加交付されたことで1,075万9千円の剰余金が生じました。50年度の歳入歳出の内訳は図のとおりとなっております。